

事業所向け 児童発達支援自己評価結果

児童発達支援・放課後等デイサービス ギフテッド

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			令和3年1月より広いスペースを確保できる施設に移転した。	パーティション等を利用し場所の分配をする。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%			有資格者を5名配置している。	
	3 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか。	75%	25%			
業務 改善	4 生活空間は清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%		毎朝朝礼にて振り返りを行っている。グループ共通のSNSで情報共有を行っている。	帰りの会でも振り返りを行い更に充実させる。
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	62%	37%		毎年実施している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	87%	12%			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	12%	12%		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	62%	12%	勉強会やテストも実施している。	更に専門的な研修の取入れを検討する。
適切 な 支援	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%			
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	87%	12%			
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	62%	37%		朝礼でその日のプログラムを設定している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	25%			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	62%	37%			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	87%	12%			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成しているか	75%	12%	12%	グループ共通のSNSで情報共有を行っている。	帰りの会でも振り返りを行っている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	12%	12%		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点を共通しているか	50%	37%	12%		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか	50%	25%	25%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断しているか	87%		12%		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状 況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	62%	37%			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した 支援を行っているか	62%	37%		該当事例がないが、主治医等との連絡体制を整えて 対応する。	事例に応じた対応を取る。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支 援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関 係機関と連携した支援を行っているか	37%	62%			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支 援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えて いるか	62%	37%			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校 (幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図って いるか	37%	62%		研修に参加し支援等の助言を受けている。	引き続き参加する。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援 内容等の共有と相互理解を図っているか	62%	37%			
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者 支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	62%	37%	12%			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		50%	50%		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		62%	37%	親子通園を行っている。	よりわかりやすく対応方法の実践を取入れる。
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	87%	12%			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	62%	37%			
	32 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	87%		12%		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意をえているか	87%		12%		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		毎月ギフト通信や各行事のお知らせ等を配布している。	引き続き取り組んでいく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	87%		12%		
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			新型コロナウイルス感染症予防の為招待は行っていない。	実施方法を検討する。	
非	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	87%	12%		定期的実施中である。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
常時等の 対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		75%	25%	虐待防止研修を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			保護者様に了承を得た上で個別支援計画に記載し、身体拘束についての研修を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	62%	37%		定期的の実施中である。	様々な想定の下に訓練を実施していく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	87%	12%			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指書に基づく対応がされているか	75%	25%			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%		ヒヤリハットは行っている。報告書も残している	さらに共有を強化していく。
	46 虐待防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%		虐待防止の研修を行っている。	
47 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	87%	12%				